

つながりプロジェクト「Picture Happiness on Earth」が始動

STEM教育プログラムを6カ国の中高生に提供

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利 衛)は、つながりプロジェクト(※1)「Picture Happiness on Earth」を2015年9月に始動します。このプロジェクトは、アジア太平洋地域6カ国(※2)の中高生が科学データやデジタルコンテンツを活用しながら、科学的・論理的に地球規模の課題を多視点から捉える機会を創出するものです。金融・ビジネス情報サービスプロバイダーのブルームバーグ(Bloomberg L.P.)による支援のもと、ワークショップを6カ国で開催していきます。

未来館は2011年から、一人ひとりが自分と地球上のあらゆるものとの「つながり」に目を向けながら、地球への持続性に関する理解を深め、将来のビジョンとともに模索する「つながりプロジェクト」を展開してきました。本企画は、この活動をアジア太平洋各国でさらに展開していくものです。オーストラリア、中国、日本、マレーシア、フィリピン、そしてシンガポールの科学館と連携し、多様なデータの閲覧を可能にする「つながりツール」(※3)を活用したワークショップを開発、各国で実施します。またワークショップを通して、参加者である中高生が多様な価値観を理解しながら、課題を解決していくために必要な科学的思考を育む機会を提供していきます。100億人が「幸せ」に暮らす未来を実現するためには、いったい何が必要なのでしょうか?未来を担う各国の中高生とともに考え、本プロジェクトを通じて発信していきます。

活動の成果は、2017年に未来館で開催される世界科学館サミット (Science Centre World Summit 2017)にて世界各国の科学館関係者に向けて発表予定です。未来館はアジア太平洋地域だけでなく、世界の科学コミュニケーションの中心拠点として、地球規模の課題の解決に取り組む活動をさらに推進していきます。

【概要】

名称 つながりプロジェクト「Picture Happiness on Earth」
主催 日本科学未来館
協賛 ブルームバーグ(Bloomberg L.P.)

ブルームバーグ(Bloomberg L.P.)について

ブルームバーグは、革新的なテクノロジーを基盤とし、データ、ニュース、分析機能の配信などを世界192カ所、73カ国で提供するグローバル企業です。資本市場の透明性を、情報の提供を通じて高めることを主な使命として1982年に設立されました。詳細は<http://about.bloomberg.co.jp/>をご覧ください。



※1 「つながり」プロジェクト

国内外の研究者やアーティストとの連携により、地球に関する科学情報を収集、視覚化して伝える活動を行なっています。世界の人々とともに、今の地球、今の自分についての「知」を深め、今ある豊かな地球を次世代につないでいくために私たちが何をすべきかを考え、未来のビジョンをともに作り上げることが、プロジェクトのミッションです。



※2 本プロジェクトに参加する6カ国の科学館(2015年9月現在)

China Science And Technology Museum(北京、中国)/The Mind Museum(マニラ、フィリピン)/Petrosains(クアラルンプール、マレーシア)/Scitech(パース、オーストラリア)/Science Centre Singapore(シンガポール)/静岡科学館 る・く・る(静岡、日本)

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL: http://www.miraikan.jst.go.jp	日本科学未来館 事業部 展示企画開発課 広報普及担当 EMAIL: press@miraikan.jst.go.jp TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

【ワークショップ概要】

日本を含むアジア太平洋地域の科学館のエducーターと中高生が協働し、地球ディスプレイ“Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)”(※3-1)に映し出すコンテンツをつくります。プロジェクトのテーマは“幸せってなんだろう”。ワークショップの参加者である中高生は、ビジュアライズされた多様な科学データを搭載した「つながりツール」を駆使して、100億人が暮らす地球の「幸せ」のかたちを探ります。

開催期間

下記の期間を3つのフェーズに分けて実施。各フェーズの成果をリレー形式で次のフェーズへとつなぎます。

期間：2015年9月～ ※今後の詳細スケジュールは確定次第、ウェブサイトで公開予定です。



<フェーズ1>

科学館エドycーターのためのワークショップ@未来館

アジア太平洋地域の科学館から1名ずつエドycーターを未来館に招聘し、フェーズ2で実施するワークショップの研究を行います。ワークショップで使用する3つの「つながりツール」への理解を深め、エドycーター同士が、各国が抱える社会的な課題を共有しながら、ワークショップ・プログラムを一緒に作りあげていきます。

期間：2015年9月28日(月)～30日(水)

会場：日本科学未来館

参加者：日本含む環太平洋アジア地域の連携科学館エドycーター 6名

<フェーズ2>

“Geo-Cosmos”の映像コンテンツのストーリーをつくるワークショップ@アジア太平洋6カ国

フェーズ1に参加したエドycーターたちが各国の科学館を拠点として、“Geo-Scope(ジオ・スコープ)”(※3-2)、“Geo-Palette(ジオ・パレット)”(※3-3)を活用しながら、テーマに沿った“Geo-Cosmos”の映像コンテンツのストーリーを制作するワークショップを中高生対象に開催。成果はウェブサイトなどで公開され、各館から1点ずつ選出されたストーリーをもとに、フェーズ3で映像コンテンツがつくられる予定です。

期間：2015年12月～(予定)

会場：日本含むアジア太平洋地域の連携科学館

対象：各館が所在する国・地域に暮らす中高生 各30名程度

<フェーズ3>

“Geo-Cosmos”の映像コンテンツをつくるワークショップ@未来館

フェーズ2で選出されたストーリーをもとに、“Geo-Cosmos”に映し出す映像コンテンツの制作を予定しています。本フェーズは、理系分野への進学が少ない日本の女子中高生の科学技術への理解や関心を高めるため、女子中高生を対象として実施。制作過程では、日本国内の若手クリエイターが、必要な技術や視覚表現のサポートを行う予定です。

※3 「つながり」ツール

1. Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)

1000万画素を超える高解像度で、宇宙に輝く地球の姿をリアルに映し出す未来館のシンボル展示。有機ELパネルを使った世界初の地球ディスプレイです。現在上映できるデータは約80種類。



<Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)>

2. Geo-Scope(ジオ・スコープ)

世界中の科学者や研究機関から集められた多様な地球観測データにアクセスできるインタラクティブボード。タッチパネルによる簡単な操作で、地球スケールの情報を思いのままに探ることができます。閲覧できるデータは約40種類。



<Geo-Scope(ジオ・スコープ)>

3. Geo-Palette(ジオ・パレット)

世界の国々や地域に関する情報をもとにしたオリジナルの地図が描けるオンラインアプリケーション。異なるデータを一枚の地図上に重ね合わせて見ることで、地球環境や人間活動の様相をさまざまな観点から再発見することができます。